

単元名 きいて しらせよう

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。
 (3) 紹介するという見通しをもって友達に質問し、友達について書こうとする。

標準的な展開例

01010214_001

【教材名】ともだちの こと、しらせよう (下 P. 38～P. 41)

【準備等】紹介文の用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 学習の見通しをもつ。 ★友達のことを紹介しよう。 ○教師がインタビューする様子を見る。 ○教師による紹介を聞く。 2 音声CDを聞いて、尋ね方を知る。 ○教科書 (P. 39) を読んで、インタビューの仕方を理解する。 ○CDを聞いて、インタビューのイメージをつかむ。 ○メモの書き方を知る。 3 友達に質問する。 ○ペアにインタビューする。 4～5 友達から聞いたことを文に書く。 ○教科書 (P. 40) を読んで、紹介文の書き方を理解する。 6 書いた文章を読み合い、学習を振り返る。 ○教科書 (P. 41) の「たいせつ」を読み、交流の観点を確認する。 ○友達にインタビューしたとき、それを文章にしたとき、文章を読み合ったときの学びを振り返る。	・教師が児童にインタビューし、質問と応答のやりとりを見せて、イメージをつかませる。 ・児童が答えたことを板書する。 ・児童にインタビューしたことを、紹介する。 ・どんなことを聞いていたのか、質問の内容を板書する。 ・クラスの実態に合わせて、メモを書くワークシートなどを用意してもよい。 ・教科書 (P. 39) の「たいせつ」で友達の話を書くときに気を付けることを確認する。 ・インタビューしたことをノートやワークシートにメモさせる。 【評】インタビューの活動を通して、伝え合うために必要な事柄を選び、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないようにして集中して聞く「思考・判断・表現」を評価する。 【評】インタビューの活動を通して、紹介するという見通しをもち、友達に質問し、友達について書こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・改行の仕方や句読点の打ち方を確認する。 【評】紹介文を書く活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やして使うとともに、意味による語句のまとまりがあることに気付く「知識・技能」を評価する。 【評】紹介文を書く活動を通して、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。 【評】文章を読み合う活動を通して、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】